

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立泉小学校

①児童アンケート

(1) 英語科(小学校5年生:令和8年1月実施) (%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	23.0	42.0	30.0	5.0	0.0
問2	英語科の勉強は大切だ。	75.0	20.0	2.0	2.0	1.0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	52.0	37.0	9.0	2.0	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	21.0	46.0	28.0	5.0	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	20.0	53.0	23.0	4.0	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	86.0	9.0	4.0	1.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	77.0	16.0	5.0	2.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	72.0	20.0	6.0	2.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	30.0	48.0	17.0	5.0	0.0

(2) デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	70.2	18.7	9.0	0.9	1.1
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	64.4	21.0	10.7	2.8	1.1
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	64.0	22.3	11.2	1.5	0.9

②指導改善の具体策

【英語科】「英語で質問する／答える」、「英文を読むことができる」という項目で否定的な回答が多い。そのため、授業冒頭のSmall Talkを日常化し、使える定型表現を提示して失敗を恐れず伝え合う体験を重ねることで、やりとりの不安感を和らげる。また、音声を聞きながら文字を指で追う活動や、頭文字の音を意識したクイズ等で「読むこと」への抵抗感を減らす。さらに、伝える相手や目的を明確にした言語活動を取り入れ、主体的に英語を使う楽しさを味わうことができるような単元ゴールを設定したい。
【デジタル科】プログラミング学習では、ロボットアイデアコンテストに向けて、単にアイデアの出し合いに留まらず、「相手にわかりやすく伝える発表になっているか」等の視点で吟味し、プレゼンテーション能力の向上を図るなど、深く広く学習するためにICTを使っていくことができるようにする。

③学校関係者評価

・海外での経験や日本との比較を通して、子どもたちが自分自身の考えや視野を大きく広げていくことにつながる。 ・日本語指導教室に通う、外国にルーツのある児童が在籍していることも本校の強みである。英語の学習のみならず、日常の中でコミュニケーションのとり方や異文化の考え方の違いに触れることで、国際感覚が養われ、心が豊かになっていく。 ・ICTの使用により視力低下も心配。ICTを使うことも大切だが、時間を決めて使うことが大切。
--